白神トピックス

特産の「白神ねぎ」で新商品の開発

販売課

「白神ねぎ」の更なる知名度向上、そして農業所得の向上や販売力強化を図るため、今年度から、「白神ねぎ」を使った加工品・おみやげ品の開発に当ＪＡは取り組んでいます。

５月22日に本店で行われた試食会には、ＪＡ、全農あきた、㈱たけや製パン、㈱フルゥールの担当者など10人が参加し、「ねぎラー油」や「焼きねぎなめ茸」など４種類のごはんのおかずの他、白神ねぎのペースト入りの「お好み焼きパン」などを試食しました。今後さらに改良を重ね、６月末に予定している試食会で商品化するものを決定し、早ければお盆前後からの販売を予定しています。

▲試作品を食し、活発な意見交換が行われました

▲大人気だった「ひっぱり君」を使った定植作業

『白神ねぎ』の定植に挑戦！

営農企画課

地元特産の野菜を作ろうと能代市立竹生小学校の５、６年生の児童８人が総合的な学習の時間で『白神ねぎ』づくりに挑戦しました。５月30日に行われた定植作業は、同校の「竹っ子農園」の一部を使い、約15mの畝４列に『白神ねぎ』を植えました。

ＪＡ担当者や農業技術センター職員の協力のもと、児童たちは肥料を与え、一生懸命「ひっぱり君」を使って定植作業を行いました。児童からは「ねぎは土を寄せるほど生長することがわかった」や「普段見ることのない機械を使って植えることができて楽しかった」といった感想が聞かれました。

不祥事防止体制へ理解を深める

企画課

新採用職員３人を対象に、５月29日、コンプライアンス研修会を実施しました。この研修会は、ソーシャルネットワークによる情報漏えいなどの身近な法令規制を例に見ながら、コンプライアンスの基本的な考え方を理解してもらうことを目的としています。

研修会では、ＤＶＤでコンプライアンスについて学んだほか、コンプライアンス態勢の確立に向けてＪＡ職員にとってのコンプライアンスとは何か、コンプライアンスマニュアルを日常的に活用し、公私のけじめやＪＡ職員として最低限守るべきことなどを学びました。

▲コンプライアンスの重要性を確認しました

▲支店周辺のクリーンアップを行いました

チャレンジデーに参加

のしろ東支店・藤里支店

毎年５月の最終水曜日に全国一斉に開かれる、住民総参加型大規模スポーツイベント「チャレンジデー」に今年ものしろ東支店と藤里支店が参加しました。

のしろ東支店、藤里支店ともにウォーキングを兼ねたクリーンアップ活動に汗を流しました。このうち、のしろ東支店では、支店から東能代駅前までの距離を約20分かけて行いました。チャレンジデーに参加した職員からは「天気も良く、気持ちのいい汗を流すことができました」と感想が聞かれました。今回のチャレンジデーでは、能代市の参加率は50.8%、藤里町の参加率は83.3%となりました。

蟹座（6・22～7・22） 新しいことをスタートさせるのに最適。意欲的にチャレンジしてみて。過去に駄目だった挑戦にもリベンジ可能